

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	東北生活文化大学短期大学部
設置者名	学校法人三島学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	生活文化学科 食物栄養学専攻	夜・通信			37	37	7	
	生活文化学科 子ども生活専攻	夜・通信			54	54	7	
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.mishima.ac.jp/tsb/campuslife/syllabus/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東北生活文化大学短期大学部
設置者名	学校法人三島学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.mishima.ac.jp/gakuen/pdf/yakuin.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤理事	前：三菱マテリアル(株)知 的財産部 担当部長 無職	2019.4.22 ～ 2023.4.21	企画・経営統括担 当
非常勤理事	前：宮城県美術館館長 現：宮城県美術館顧問	2019.4.22 ～ 2023.4.21	教学担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東北生活文化大学短期大学部
設置者名	学校法人三島学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバスの作成は教務委員会の主導で行われている。毎年、開講するすべての授業科目について、各担当教員に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 科目名、担当者、授業の形態、開講時期、必修選択の別、対象学生、該当する単位数、事前事後学修に必要とする時間 ・ 授業概要 ・ 授業の到達目標 ・ 学位授与の方針との関連 ・ 授業計画の内容 ・ 自習(事前・事後学習の内容) ・ 履修上の注意 ・ 成績評価方法・基準 ・ 教科書・参考書 <p>を明記したシラバスの作成を依頼している。作成されたシラバスはシラバス点検委員会による点検を経て、「授業概要(シラバス)」という冊子にまとめられる。年度当初に全学生・教員に「授業概要(シラバス)」を配布するとともに、ホームページにて公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.mishima.ac.jp/tsb/campuslife/syllabus/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は各授業科目を担当する教員が授業の目的等に沿って到達目標の達成度を測るものであり、すべての科目ごとに、定期試験・ミニテスト・ミニットペーパー・レポート・課題・作品・受講態度等複数の方法で評価すること、その際、「何をどの程度求めるのか」の具体的な比率を含めてシラバスに記載することを求めている（シラバスの「成績評価方法・基準」の項を参照）。</p> <p>成績評価結果は S・A・B・C・D で表示され、D（59 点以下）は不合格である。</p> <p>※「東北生活文化大学短期大学部生活文化学科教育課程、履修方法等に関する規程」を参照</p>	
<p>3. 成績評価において、G P A 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価においては「東北生活文化大学短期大学部生活文化学科教育課程、履修方法等に関する規程」に定める算出方法による G P A を客観的な指標としており、これを用いてクラス・学科単位の成績分布状況を把握するとともに、個々の学生の履修指導に活用している。成績の分布状況は添付の資料のとおりである。</p> <p>※「東北生活文化大学短期大学部生活文化学科教育課程、履修方法等に関する規程」および成績分布を示す資料</p> <p>【GP の算出方法】</p> <p>各科目の GP(Grad Point)は、100 点法による成績評価にもとづいて算出する。</p> $GP = (100 \text{ 点法による成績} - 55) \times 1/10$ <p>ただし、不合格の科目(55 点以下)の GP は 0 とする。</p> <p>【GPA の算出方法】</p> <p>GPA は GP を単位で重みづけし平均化したもの。各学期の GPA と、入学時から在学時点 までの累積 GPA の 2 種類がある。</p> $\text{各学期の GPA} = \frac{\text{当該科目の単位数} \times \text{当該科目の GP}}{\text{当該学期の評価科目の単位数の総和}}$ $\text{累 積 GPA} = \frac{\text{当該科目の単位数} \times \text{当該科目の GP}}{\text{全評価科目の単位数の総和}}$	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.mishima.ac.jp/tsb/about/rule/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定に関する方針「ディプロマ・ポリシー」を定め、それを実現するための教育課程の編成の方針「カリキュラム・ポリシー」に基づいて配置された授業科目の所定の単位（すべての卒業必修科目単位を含む62単位以上）を取得することを確認した上で卒業を認定している。卒業認定は全教員の出席する教授会の「卒業認定会議」で行われる。</p> <p>※「学則」第5章参照</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）・・・ https://www.mishima.ac.jp/tsb/about/policies/ 学修成果の評価・卒業認定の基準・・・ https://www.mishima.ac.jp/tsb/about/info/tuition/</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	東北生活文化大学短期大学部
設置者名	学校法人三島学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.mishima.ac.jp/gakuen/gakuen04.php
収支計算書又は損益計算書	https://www.mishima.ac.jp/gakuen/gakuen04.php
財産目録	https://www.mishima.ac.jp/gakuen/gakuen04.php
事業報告書	https://www.mishima.ac.jp/gakuen/gakuen04.php
監事による監査報告(書)	https://www.mishima.ac.jp/gakuen/gakuen04.php

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <https://www.mishima.ac.jp/tsb/about/evaluation>

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: <https://www.mishima.ac.jp/tsb/about/evaluation>

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 生活文化学科
教育研究上の目的 (公表方法 : https://www.mishima.ac.jp/tsb/about/spirit/)
(概要) 本学は、三島学園建学の精神に基づいて、我が国の生活文化の向上を図るため、生活と文化に関する専門の学芸を享受研究し、実学教育によって職業又は實際生活に必要な能力を養成し、社会に貢献する実践力のある人材を育成することを目的とし、使命とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : https://www.mishima.ac.jp/tsb/about/policies/)
(概要) 卒業の認定に関する方針「ディプロマ・ポリシー」に沿って、それを実現するための教育課程の編成および実施に関する方針「カリキュラム・ポリシー」を各学科・専攻で定めている。設置された各授業科目と「ディプロマ・ポリシー」との関連は「カリキュラム・マップ」および「シラバス」に明記された授業ナンバリングにより確認できる。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : https://www.mishima.ac.jp/tsb/about/policies/)
(概要) 本学は生活と文化に関する実学教育によって、地域の担い手として社会に貢献できる実践力のある人材を育成することを使命としており、本学の教育理念に共感し、地域社会の発展のために責任感を持って活動する意欲のある人を求める。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : https://www.mishima.ac.jp/tsb/about/policies/)
(概要) 本学は生活と文化に関する実学教育によって、地域の担い手として社会に貢献できる実践力のある人材を育成することを使命としており、本学の教育理念に共感し、地域社会の発展のために責任感を持って活動する意欲のある人を求める。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法 : https://www.mishima.ac.jp/tsb/depart/
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
生活文化学科	—	6人	6人	5人	0人	4人	21人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長				学長・副学長以外の教員			計
0人				19人			19人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://www.mishima.ac.jp/tsb/about/info/teacher/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
生活文化学科	100人	72人	72%	200人	148人	74%	0人	0人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	100人	72人	72%	200人	148人	74%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
生活文化学科	81人 (100%)	4人 (4.9%)	72人 (88.9%)	5人 (6.2%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	81人 (100%)	4人 (4.9%)	72人 (88.9%)	5人 (6.2%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>シラバスの作成は教務委員会の主導で行われている。毎年、開講するすべての授業科目について、各担当教員に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科目名、担当者、授業の形態、開講時期、必修選択の別、対象学生、該当する単位数、事前事後学習に必要とする時間授業概要 ・授業の到達目標 ・学位授与の方針との関連 ・授業計画の内容 ・自習（事前・事後学習の内容） ・履修上の注意 ・成績評価方法・基準 ・教科書・参考書 <p>を明記したシラバスの作成を依頼している。作成されたシラバスはシラバス点検委員会による点検を経て、「授業概要（シラバス）」という冊子にまとめられる。年度当初に全学生・教員に「授業概要（シラバス）」配布するとともに、ホームページにて公開している。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>成績評価は各授業科目を担当する教員が授業の目的等に沿って到達目標の達成度を測るものであり、すべての科目ごとに、定期試験・ミニテスト・ミニトーパー・レポート・課題・作品・受講態度等複数の方法で評価すること、その際、「何をどの程度求めるのか」の具体的な比率を含めてシラバスに記載することを求めている（シラバスの「成績評価方法・基準」の項を参照）。</p> <p>成績評価結果はS・A・B・C・Dで表示され、D（59点以下）は不合格である。</p> <p>卒業の認定に関する方針「ディプロマ・ポリシー」を定め、それを実現するための教育課程の編成の方針「カリキュラム・ポリシー」に基づいて配置された授業科目の所定の単位を取得することで卒業を認定している。卒業認定は全教員の出席する「卒業認定会議」で行われる。</p>																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学部名</th> <th>学科名</th> <th>卒業に必要となる 単位数</th> <th>GPA制度の採用 (任意記載事項)</th> <th>履修単位の登録上限 (任意記載事項)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>生活文化学科</td> <td>62単位</td> <td>有・無</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>単位</td> <td>有・無</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>単位</td> <td>有・無</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>単位</td> <td>有・無</td> <td>単位</td> </tr> </tbody> </table>	学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)		生活文化学科	62単位	有・無	単位			単位	有・無	単位			単位	有・無	単位			単位	有・無	単位
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)																					
	生活文化学科	62単位	有・無	単位																					
		単位	有・無	単位																					
		単位	有・無	単位																					
		単位	有・無	単位																					
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：																							

学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法：
----------------------------	-------

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.mishima.ac.jp/tsb/about/info/facility/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	生活文化 学科食物 栄養学専 攻	590,000 円	250,000 円	449,186 円	
	生活文化 学科子ど も生活専 攻	590,000 円	250,000 円	394,586 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>新入生学業奨励金 修学意欲が高く入学後の学業成績の優秀な1年生に対して年額12万円の返済義務のない給付金を支給している。</p> <p>在學生学業奨励金 学業に精励し態度と志向性が学生にふさわしい在學生(短大2年生)に対して、年額12万円の返済義務のない給付金を支給している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災学生給付型奨学金制度 東日本震災により、主たる家計支持者の自宅家屋が全壊(または流出)した場合について、年額16万円支給している。その他、被災により学業継続に支障のある場合、個別の相談により、状況に応じて支援している。 ・長期履修制度 (1) 就業している者、(2) 出産・育児・介護等を行う必要がある者、(3) その他学長が適当と認める者に対して在学期間を3年から4年まで延長を認める制度である(授業料等の納入額は修業年数(2年)に相当する額を納入するのみである)。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>キャリア形成分野の科目を1年次から2年次に開講し、その他インターンシップ対策、夏季直前特別セミナー、公務員試験対策講座、東京就活バスツアー等のイベントを計画的に取り入れている。また、年3回の進路状況調査、少人数制を活かした丁寧な個別指導を実施。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>保健センターに医師、看護師を配置し、健康診断及び応急処置を行っている。また、健康診断証明書の発行も行っている。</p> <p>学生相談所に所長、副所長、相談員を配置し、学生個人、または必要に応じて学生の家族を交えて様々な相談に応じている。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : <https://www.mishima.ac.jp/tsb/about/info/>